

Energy Policy Roundtable



第一回 新しい時代のエネルギー政策構築に向けて

21th of February 2012

東京大学政策ビジョン研究センター
共催: 公共政策大学院



©2012 Policy Alternatives Research Institute

Energy policy Roundtable 2012



パネルディスカッション

15:00-16:00

田中 伸男 前IEA事務局長、現エネルギー経済研究所 特別顧問

森田 朗 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授

中谷 和弘 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授

佐藤 光三 東京大学大学院 工学系研究科 教授

芳川恒志 政策ビジョン研究センター併任
東京大学公共政策学連携研究部 特任教授



© 2012 Policy Alternatives Research Institute

ホルムズ海峡 (Strait of Hormuz) と国際法



- 迂回路なし: 世界で最も重要なchokepoint
- 海峡沿岸国: イランとオマーン(ムサンダム半島)
- 国連海洋法条約(UNCLOS)上の「国際海峡」: 船舶の通過通航(transit passage)
- 両国は「領海」と主張: 船舶の無害通航(innocent passage)
- 封鎖の可否に影響?: 自衛、対抗措置(countermeasures)
- 分離航路帯: オマーン側ゆえ、封鎖はオマーンの主権侵害の可能性
- イラン以外の危機のシナリオ: オマーン?、テロ、海賊、事故
- 衝突防止協定の必要性: 米ソ公海事故防止協定(INCSEA, 1972)

©2012 Policy Alternatives Research Institute

IEA による緊急時対応



- 成功した国際機関、Emergency Sharing System (イラン人質事件、イラン・イラク戦争、湾岸戦争)
- 存在自体が心理的パニックを回避
- 今後の課題
 1. 中国、インド等の非加盟新興国の石油需要の増大ゆえ、ESSがうまくいく保証はない
 2. 天然ガスについてのESSが必要
- どの機関が担うべきか: IEAがベスト

©2012 Policy Alternatives Research Institute